

生活基盤施設耐震化等交付金チェックシート（事前評価）

計画の名称： 香川県における水道事業の広域化に伴う水道事業基盤の強化推進及び水道施設の強靱化推進
 計画の期間： 平成30年度～令和4年度
 都道府県名： 香川県

令和元年5月31日

区分		評価	評価の理由
目標の妥当性	①上位計画等との整合性	○	<ul style="list-style-type: none"> ● 香川県次期総合計画「新・せとうち田園都市創造計画」において、県内水道施設（基幹的な水道管）の耐震化率の令和2年度目標値を21.6%としている。 ● 香川県水道ビジョンで設定している圏域（香川県圏域）における水道事業の広域化により行われる事業である。
	②地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の整合性）	○	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業を実施することにより水道事業基盤の強化や水道施設の強靱化が図られ、災害時等の安定的な水道の供給に寄与すると思われる。
計画の効果・効率性	①事業計画の目標と定量的指標の整合性	○	<ul style="list-style-type: none"> ● 毎年度の基幹的な水道管の耐震化率は、水道統計調査のデータを基に算出し、翌年度末に公表している。耐震化率の令和2年度目標値21.6%は、各年度の耐震化率の推移を考慮し、平成25年度の全国平均値を目標値に設定した。
	②定量的指標の明瞭性	○	<ul style="list-style-type: none"> ● 最終年度の基幹管路の耐震化率については、事業を実施する香川県広域水道企業団の事業計画に基づいた指標である。
	③目標と事業内容の整合性	○	<ul style="list-style-type: none"> ● 香川県広域水道企業団において、水道事業の広域化に伴う水道施設の更新・耐震化事業を行うことから、本県における基幹管路等の耐震化率は向上する見込みである。
	④事業の効果の見込みの妥当性	○	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業を実施することにより水道事業基盤の強化や水道施設の強靱化が図られ、災害時等の安定的な水道の供給に寄与すると思われる。
計画の実現可能性	①円滑な事業執行の環境（用地取得の見通し、関連法手続きの見通し等）	○	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業を実施する香川県広域水道企業団において、用地取得が難航している事案は無い。 ● 計画している事業は、香川県広域水道企業団の水道法における創設認可申請の内容に含まれている。 ● その他関係法令（河川法、水質汚濁防止法、建築基準法等）についても、香川県広域水道企業団が平成30年4月の事業開始にあたり関係機関に手続きを行った。
	②地元の機運（当該事業に係る要望等）	○	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成20年度の県と市町の水道担当課長等による勉強会を皮切りに、外部有識者による専門委員会での議論を行った後、知事と関係市町長による協議会を3度設置するなど、約9年にわたり検討・協議を重ねてきた結果、平成30年度から香川県広域水道企業団の事業開始に至った経緯がある。